



『令和4年度 活動報告』

(一社) 鳥取県 L P ガス協会

令和4年度 中核充填所稼働訓練実施

大規模災害発生時において、中核充填所を中心としたLPガス事業者及び行政機関等の連携について検証することにより、LPガスの安定供給とより一層の防災体制の確立を図ることを目的とし、令和4年10月27日（木）10時より、鳥取県危機管理局消防防災課、(株)エネルギーセンター鳥取、（一社）鳥取県LPガス協会を主会場としてWebによる通報訓練、中核充填所稼働訓練及び衛星携帯電話による通信確認が開催されました。今年も新型コロナウイルス感染症対策のため従来のような来賓者・関係者を招待せず、関係事業者のみの参加とし開催されました。（通報訓練参加事業所は7事業者）

当日は「鳥取県東部地内断層内において震源深さ30Kmで地震発生、マグニチュード7.3、最大震度6強により東部地域を中心に多数の被害が発生した」との想定で、訓練が開始されました。鳥取県LPガス協会本部内に災害対策本部と東部支部長会社に現地対策本部が設置され、水谷会長の「只今より中核充填所通報訓練を開始する」合図のもと訓練が開始されました。終了後は各参加事業所より所感を頂くとともに、総評を鳥取県危機管理局消防防災課山内指導員より頂きました。その後、衛星携帯電話による通報訓練も実施されました。

また会場を変え、(株)エネルギーセンター鳥取では中核充填所の稼働訓練が行われました。鳥取県LPガス協会よりLPガスの供給要請を受けた当所は、非常用LPガス発電機の運転に切り替え、50K容器とディスペンサーによる配送車両へのLPガス充填が手際よく実施されました。

鳥取県下には2か所の中核充填所があり、今回は東部での開催となりましたが今年度は中部地域の2充填所も通報訓練に参加（視聴のみ）を頂き全県一体となった取組みとなりました。今回3年目となるWeb方式の通報訓練も特に大きなトラブルもなく、緊張感のある訓練となりました。また、より実践に近い訓練になったようです。



訓練開始を宣言する水谷会長



Web参加者の皆さん

中核充填所訓練風景

02



訓練開始



固定充てん器による容器充填



配送車両への積み込み



非常用発電機稼働



電源切替（商用⇒自家用）



ディスペンサーによるLPガス車への充填

第41回 定時総会を開催

開催日：令和4年5月26日（木）

会 場：米子ワシントンホテルプラザ

出席者：106名（実出席17名、委任状出席89名）

※コロナ感染症対策のため人数制限にて実施

鳥取県LPガス協会では上記日程にて、第41回定時総会を開催しました。総会に先立ち令和3年度鳥取県知事表彰をはじめ各部門の顕彰と令和4年度鳥取県LPガス協会会長表彰の顕彰が行われ、対象者のお名前が読み上げられました。定時総会においては、水谷会長が議長に指名され、上程のあった6議案すべてが全員一致で採択されました。

水谷会長挨拶要旨

本日は第41回定時総会にご参集いただき誠にありがとうございます。総会が3年続きでこのような形となり残念ですがご了承願いたいと思います。

さて、このあと行われます、令和3年度の高圧ガス保安協会会長表彰と本年度の鳥取県LPガス協会会長表彰の顕彰・受賞されます皆さんにおかれましては、お祝いを申し上げますと共になお一層のご活躍を願い、当協会へのお力添えを頂きますようよろしくお願い申し上げます。

さてコロナ禍にあって、3年目を迎えるわけですが、経済が大混乱に陥る中にあって、また、いつ収束するかわからない、出口もいまだに見通せず、また戦争の勃発という21世紀のこのご時世に信じがたい光景を目の当たりにして、人の世の不条理と非情さを感じる今日この頃であります。

こうした情勢にあって、我々の業界を振り返ってみますと、なんといってもLPガス価格の急騰、サプライチェーンの停滞、ガス器具の製造遅延、追い打ちをかける如きの急激な円安や原材料価格の急騰などなど。

また、売るものが入らないのに物の値上げの通告ばかりとなっております。半面、このように二重三重の不利な状態になっても、何とか耐えてやって来られたこと、またこれからもやって行けるであろうことを思うと、ありがたさを感じるところであります。

協会運営につきましては、1年間・2年間思うような事業は出来ませんでした、大きな事故もなくまた大きな災害に見舞われることもなく、これまでしのいで来られたことに対して、会員各位に改めてお礼を申し上げるところであります。

今年の総会は役員改選を含め、多くの議案が上程されております。議案をスムーズに通していただきまして、新体制が力強くスタートできますようお願いしまして、開会のご挨拶とさせていただきます。

上程された議案は下記のとおり

- 第1号議案「令和3年度事業報告(案)並びに収支決算(案)承認の件」
- 第2号議案「令和4年度会費の賦課(案)並びに徴収方法(案)承認の件」
- 第3号議案「令和4年度事業計画(案)並びに収支予算書(案)承認の件」
- 第4号議案「令和4年度借入金の最高限度額(案)承認の件」
- 第5号議案「販売事業に係る申請書類等の提出について承認を求める件」
- 第6号議案「役員選任の件」

鳥取県LPGガス協会 役員名簿 令和4年5月26日現在（敬称略）

職名	氏名	事業所名
会長	水谷 正弘	(株)トンボプロパンガス
副会長	板倉良一	(株)鳥取西部ジェイエイサービス
〃	坂本通裕	日ノ丸産業(株)
〃	矢田貴之	山陰酸素工業(株)倉吉支店
専務理事	谷長 潔	(一社)鳥取県LPGガス協会
理事	北浦恭一	全国農業協同組合連合会鳥取県本部
〃	谷口俊二	山陰酸素工業(株)鳥取支店
〃	櫻田真人	(株)トータルエナジーオオタ
〃	平木敏紀	(有)ひらぎ商店鳥取営業所
〃	勝原春彦	鳥取ガス産業(株)
〃	山田友博	湊屋石油(株)
〃	下城良一	(株)JA中央サービス
〃	大山稔人	大陽日酸エネルギー(株)中四国支社山陰支店
〃	杉原 修	山陰酸素工業(株)米子支店
〃	篠原 天	(株)篠原商店
〃	内藤朝雄	広島ガスエナジー(株)米子営業所
〃	千葉玲一	イワタニ山陰(株)米子支店
〃	寺本 勤	(有)寺本商店
監事	矢田邦敏	イワタニ山陰(株)鳥取支店
〃	吉村 博美	(株)ヨシムラ
〃	柳原伸一郎	(株)松本油店

令和4年度 LPガス販売事業者保安講習会を開催

例年開催されているこの保安講習会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度も密を避けるため鳥取県内3会場での分散開催となりました。

当保安講習会は鳥取県指導の下に開催され、保安の確保に係る行政及び業界の施策等周知徹底を図るものです。講師に鳥取県危機管理局消防防災課高圧ガス保安指導員山内氏より、まず、令和3年度の立入検査結果が説明されました。

以下、講習内容の概要をご報告します。

立入検査実施数は96事業所、うち不備事業者所は28事業所（前年と同数）でした。また、違反事項（重複あり）は次のとおりでした。

- ☞ 貯蔵設備の維持管理（法第16条）（※）・・・9事業所
- ☞ 保安教育帳簿の不備（法第18条）・・・5事業所
- ☞ 業務主任者の代理の選・解任（法第21条）・・・1事業所
- ☞ 供給設備点検・消費設備調査の不備（法第27条）・・・16事業所
- ☞ 保安業務用機器の点検・整備（法第31条）・・・6事業所
- ☞ 帳簿の記載の不備（法第81条）・・・7事業所

（※）換気口の通風障害、屋根の破損改修、防火戸の開閉障害、
不要物品の整理、警戒標の視認障害、消火器の腐食劣化等

【過去の事故発生概要】

- 1) 1979年の793件をピークにマイコンメーター、ヒューズガス栓、ガス漏れ警報器等の普及により、1997年には68件まで大幅に減少した。
- 2) 1998年から2005年までは、75～120件／年で推移し、2006年以降は事故届の徹底指導等により、140～260件／年で推移している。

【2021年の事故状況及び発生原因】

- 1) 事故件数は、212件で前年の198件から14件増加となった。また、死亡事故者は1人であった。
- 2) 負傷者数は20人で前年の29人から9人減少し、液石法が交付された1967年以降最も少ない数となった。

◇原因別の発生原因

- ・一般消費者に起因するもの・・・39件
 - ・LPガス販売事業者等に起因するもの・・・44件
 - ・その他の事業者等に起因するもの・・・67件
-
- ・一般消費者等に起因する事故原因としては、末端ガス栓や器具栓の誤開放（9件）が最も多く、これに風呂釜やコンロの点火ミス・立消え（8件）、燃焼器の取扱いミスなどの消費機器の不適切な使用（5件）が続く

- ・ L P ガス販売事業者等に起因する事故原因としては、供給設備、費設備の腐食等劣化（18件）、設備工事や修理工事等の工事ミス・作業ミスが挙げられ、その他、容器交換時の接続ミス等（6件）がある。
- ・ その他の事業者に起因する事故のうち、他工事業者に起因するものが52件と多く、その他の事業者に起因する事故の約77.6%を占めている。
- ・ 雪害等自然災害による事故が1件（うち雪害0件）と近年3カ月の平均（16.4件）を大きく下回った。

次に、鳥取県の事故発生状況についての説明及び注意喚起がなされました。

- ・ 2021年度の鳥取県の事故件数は5件であった。何れもC2級事故であった。
- ・ 内訳は「漏洩火災」1件、「漏洩（自然災害）」1件、「他工事事故」3件であった。
- ・ 他工事事故に鑑み、掘削作業時には掘削業者としっかり連携を図り、配管の位置及び掘削の位置等確認しながらの作業とすること。掘削作業時に販売事業者も立ち会うなど、事故防止に努めてほしいとの提案がなされました。

【事故分類について（2018年4月以降）】

- **A級事故**：死者5名以上、死者及び重傷者が合計10名以上、死者及び負傷者（軽傷者を含む）が合計30名以上、甚大な物的被害（被害総額5億円以上）、社会的影響が著しく大きいもののいずれかに該当するもの。
- **B級事故**：死者1名以上4名以下、重傷者が合計2名以上9名以下、負傷者が6名以上29名以下、甚大な物的被害（被害総額1億円未満）、社会的影響が大きいもののいずれかに該当する事故。
- **C 1級事故**：負傷者1名以上5名以下かつ重傷者1名以下のもの、爆発・火災等により建物又は構造物の損傷当の物的被害が生じたもののいずれかに該当する事故。
- **C 2級事故**：A級事故、B級事故及びC 1級事故以外の事故

その他、「LPガス設備の災害対策について」の項目ではLPガス設備の災害対策強化、激甚化する自然災害への対策、容器流出対策等の説明がなされた。また、鳥取県協会からは「LPガス安心サポート推進運動について（概要）」について説明がなされた。

令和4年度保安講習会開催実績 (令和4年6月21日～27日：県内3会場)

会場名	日 時	場 所	出席者数	講 師
中 部	6月21日 13:30～15:30	倉吉未来中心	47名	山内保安指導員
東 部	6月22日 13:30～15:30	とりぎん文化会館	49名	〃
西 部	6月27日 13:30～15:30	米子コンベンションセンター	64名	〃
3会場合計			160名	

鳥取県お客様相談所委員会を開催しました

令和4年10月5日(水)倉吉シティホテルにてお客様相談所委員会を開催しました。出席委員様からはL Pガス業界への貴重な提言・要望を頂きました。また今年度はお客様委員として6委員の内、1委員の方が新しく就任(☆印)されました。

【出席者の方々は下記のとおり】

お客様委員	佐々木ちゑ子	鳥取市消費者団体連絡協議会	会長
	☆森下 佳代子	鳥取県連合婦人会	会長
	山口 とも子	高齢社会をよくする会くらよし	代表
	廣戸 妙子	J Aとっとり女性会	会長
	小椋 陽子	東伯郡連合婦人会赤碕婦人会	会長
	安達 勢津子	米子市社会福祉協議会在宅福祉員	会長
中立委員	山本 晋	(株)新日本海新聞社 地域プロデュース局	次長
	森谷 祐子	日本海テレビジョン放送(株)	取締役
行政関係	岩田 慎吾	鳥取県危機管理局	
		消防防災課	課長補佐
業界委員	水谷会長、矢田副会長、板倉副会長、坂本副会長		
	北浦理事		
	((一社) 鳥取県L Pガス協会)		

第20回保安大会が開催されました

令和4年10月21日（金）

標記大会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け2年間中止していましたが、
本年はややコロナ感染症が落ち着きを見せたこともあり、第20回保安大会が開催されました。

記

1. 時 間：10時～11時
2. 場 所：倉吉未来中心 小ホール （倉吉市駄経寺町212-5）
3. 主 催：鳥取県高圧ガス保安大会実行委員会
4. 後 援：経済産業省中国四国産業保安監督部、鳥取県、高圧ガス保安協会中国支部
5. 内 容：1) 並河大会実行委員会会長挨拶
2) 鳥取県知事表彰
3) 来賓祝辞（産業保安監督部長 部長 宮地佳子氏）
（鳥取県危機管理局 局長 水中進一氏）
6. 大会スローガン採択
7. 大会宣言：鳥取県高圧ガス地域防災協議会 会長 小林 博氏
8. 閉 会：鳥取県LPガス協会 会長 水谷正弘氏
9. 写真撮影：受賞者、来賓者、関係者
10. 講 演：高圧ガス関係事業者受講 （講師：勝田吉彰氏）



主催者挨拶をする並河委員長

大会に先立ち、令和4年度高圧関係保安功労者等県知事表彰受賞式が執り行われ、下記の方々が受賞の栄に浴されました。受賞者には鳥取県知事に替わり水中局長が表彰状の代読と記念品を手渡されました。また、受賞者を代表して嶋本氏が謝辞を述べられました。（敬称略）

◆優良販売業者

有限会社 尾崎石油

◆優良業務主任者

岡崎 靖則 （株式会社 JA中央サービス）

◆優良業務主任者

嶋本 裕美 （株式会社 岡田商店）

続いて「大会スローガン」の宣言が行われ、応募作品の中から次の作品が読み上げられました。

「一歩先読む危険予知 プロの意識でゼロ災害」

出典は日ノ丸産業(株)鳥取支店 加藤 修大氏の作品です。

□ L P ガス衣類乾燥機“を P R

(テレビにてオンエア)

令和4年10月8日(土曜日)地元テレビ局(日本海テレビジョン(株))にて、生放送によるL P ガス衣類乾燥機のP Rを行いました。この活動はL P ガス協会の青年部の活動として昨年に引き続き実施されました。

当日は、当協会の青年部代表 米谷社員(イワタニ山陰(株))がガス乾燥機利用のメリットとして、①乾燥時間の速さ ②仕上げのふんわり感 ③お財布にやさしい乾燥機などをアピールしました。

また、奈羅尾アナとのやり取りも生放送の緊張感はなく、いつもの笑顔で商品説明をこなし収録は無事終了しました。



収録が無事終了しました
(左から3番目が米谷さん)

令和4年度 液化石油ガス関係講習・検定試験実施

鳥取県LPガス協会では教育事務所事業及び国家試験事業として下記のとおり資格講習、義務講習を開催いたしました。今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けるための広い会場の確保、マスク・手消毒・検温等の対策を実施しながら、予定されていた全ての講習会と検定試験を終えることが出来ました。検定結果は下表のとおりです。

[資格講習]

(単位：名)

講習の種類		申込	受検者	合格者	合格率	備考
第二種販売講習		25	22	9	40.9%	
業務主任者の代理者講習		1	0	0	0.0%	
丙種化学液石講習		20	18	6	33.3%	
設備士第2・3講習	筆記	22	21	13	61.9%	
	技能	16	16	13	81.3%	
保安業務員講習		29	29	28	96.6%	
合 計		113	106	69	65.1%	

〔義務講習〕

(単位：名)

講習の種類	申込者数	講習修了者数	備考
設備士再講習	82	82	
業務主任者講習	49	47	
合 計	131	129	

〔自主講習〕

(単位：名)

講習の種類	申 込	受検者	合格者	合格率	備考
フレキ管講習	19	19	19		

申込者合計

263

(4) 試験事務受託事業（国家試験事業）

① 実施日：令和4年11月13日(日)

② 実施場所：県立倉吉体育文化会館

③ 受験科目：高压ガス製造保安責任者、高压ガス販売主任者
液化石油ガス設備士

種 類		願書受付数	受験者数	合格者数	合 格 率
製造保安責任者		77	69	33	47.8%
販売主任者		51	50	25	50.0%
設備士	筆記	11	11	0	0.0%
	技能	0	0	0	0.0%
合 計		139	130	58	44.6%

令和4年度地域保安指導事業保安講習会開催

- ▶ 経済産業省から委託を受けで実施している地域保安指導事業保安講習会は、
- ▶ 例年、県下に会場を設け開催していますが、本年度も、新型コロナウイルス感染防止の為、eラーニング方式での実施となりました。
- ▶ 受講科目は、法令指導、保安業務指導、CO中毒事故防止、LPガス災害対策の4テーマの中から受講者が選択し受講する方法です。（全科目受講可）
- ▶ 本年度の保安講習は、インターネット環境が整っていれば誰でも受講可能で、11月14日から1カ月間の期間が設けられ、受講生の都合でいつでも受講できる方法で実施され、鳥取県では133名の方が受講されました。

講習科目	受講期間	
	開始日	終了日
①法令講習	11月14日	12月14日
②保安業務指導講習		
③CO中毒事故防止技術講習		
④LPガス災害対策講習		

「災害発生時の応援要員と緊急用物資」について

平成13年鳥取県と当協会、また平成26年には県下各自治体と県内において自然災害等が発生した場合、緊急用LPガスの調達に関する「災害協定」を締結しております。

これを受けて毎年12月に各事業所様より緊急時に備え、有資格者数・復旧用機材・緊急用物資の調査を実施しています。災害時に県・市町村からの要請があった場合に備え、LPガス業界では緊急時協力体制を整備しております。

「災害発生時の応援要員と緊急物資整備状況」について

応援要員人数		配管工事業務 点検・調査業務	設備士資格者 ※保安業務資格者	2 3 4名 1 1 2名	
復旧用機材					
ガス漏れ検知器		1 4 0台	発電機（ガソリン・L P G）	4 7台	
自記圧力計		1 6 8台	ネジ切り機（電動）	9 5台	
ボーリングバー		9 3台	ネジ切り機（手動）	2 0セット	
緊急用物資		（＊炊出し用・避難所等仮設設備での使用を目的として拠出できるもので中古・新品を問わず）			
容 器	5 k g、8 k g	4 9 2本	L P ガス 燃 焼 機 器	テーブルコンロ（1口）	6 4台
	10 k g	4 1 8本		テーブルコンロ（2口）	9 6台
	20 k g、30 k g	6 4 2本		鋳物コンロ（2重）	2 9 0台
	50 k g	3 8 3本		鋳物コンロ（3重）	8 2台
調整器	単段式	3 3 0個		炊飯器	6 4台
	自動切替式	3 1 1個		ストーブ	6 0台
ガス栓	1口	4 6 4個		ファンヒーター	1 4 3台
	2口	3 6 5個		湯沸器	4 0台
ホース	高圧ホース	2 0 6本		給湯器	1 3 4台
	低圧ホース	2 4 5本		風呂がま	5台
	ゴムホース	2 2 1 5m		カセットコンロ	7 8台
その他	石油ストーブ	0台		〃 ボンベ	4 6 9本

事業報告（東部支部）

LPガス発電機贈呈式

開催日時: 令和4年10月14日(金)

会 場 : 鳥取市役所 本庁舎(鳥取市)

出席者 : 鳥取市…深澤市長、小林担当 県協会…坂本支部長 事務局…有田

令和4年度「LPガスの日」のイベントとして、平成30年度より東部管内の自治体へLPガス発電機を贈呈しています。本年度は鳥取市へ贈呈しました。

東部 0 1



(東部支部) 緊急通報出動訓練のようす

緊急(災害)等発生時にすばやく対応できるよう、防災工具等が整っているか点検作業を実施しました。

【八頭地区会】

- 実施日:令和4年10月25日(火)
- 場 所:八頭町中央公民館
- 参加事業所:8事業所



【鳥取岩美地区会】 電話による伝達訓練

- 実施日:令和4年10月27日(木)
- 場 所:各事業所
- 参加事業所:22事業所



中部支部 LPガスの日PR活動

衣類乾燥機贈呈

令和4年度の「LPガスの日」イベントとして、メーター回収事業の収益金を利用して、中部支部では2ヶ所の団体へ衣類乾燥機 8 Kgを各 1 台ずつ贈呈致しました。

それぞれの施設からは、これからの季節洗濯物の乾燥にととても助かる、と大変喜んで頂きました。

【贈呈 1】

贈呈日：令和4年10月13日（木） 贈呈先：北栄町社会福祉協議会

出席者：北栄町社会福祉協議会会長 大西 孝弘 様

〃 議長 谷口いづみ 様

協会側：矢田貴之中部支部長、赤本商店 赤本協子、事務局 森田



中部支部 LPガスの日PR活動

衣類乾燥機贈呈

【贈呈2】

贈呈日：令和4年10月18日（火） 贈呈先：社会福祉法人みのり会

出席者：社会福祉法人みのり福祉会理事長 村田 速実 様

//

事務局長 児玉 和也 様

協会側：矢田貴之中部支部長、イワタニ山陰(株) 尾原専務取締役、井上英之
事務局 森田



令和4年度 中部支部3地区会

緊急通報出動訓練実施

- 東東伯地区会 平成4年 9月27日(火)全2事業所参加 出動場所:ハワイアロハホール駐車場
- 西東伯地区会 令和4年10月12日(水)全8事業所参加 出動場所:石見会館駐車場
- 倉吉地区会 令和4年10月18日(火)全16事業所参加 出動場所:天神川河川敷

中部03

3地区会とも例年通り事故を想定し、緊急出動体制の系統図に基づき緊急時にスムーズに対応出来るよう緊急通報出動訓練を実施しました。

通報を受けた会員はそれぞれの地区で指定された場所に集合し、ガス検知器・消火器・防災工具・ヘルメット・腕章・車両表・イエローカードを持参し整備されているか確認作業を行い、通報から出動に要した時間や工具等の点検も併せて緊急時に慌てないよう備えました。



令和4年度 中部支部3地区会 緊急通報出動訓練実施



倉吉地区会訓練の様子（保安部員による工具点検等）



西東伯地区会のメンバー

令和4年度 西部支部事業について

1. お客様保安指導事業

(1) LPガス機器の寄贈並びに「LPガスの日」のPR活動

西部支部では廃棄メーター回収金本部予算を活用して、リンナイLPガス衣類乾燥機5^{キロ}。(乾太くん) 2台の寄贈を行いました。寄贈先の選定は、会員に候補先を募集し、災害時の避難所と定められている施設の2カ所が決定し、贈呈式には教職員様に、保安啓発パンフレット5種類とタオル・ポケットティッシュを170セット配布し「LPガスの日」のPRを行いました。

この様子は日本海新聞に掲載されてLPガスの良いPRとなりました。

(寄贈先及び贈呈式)

1. 寄贈先: 鳥取県立米子養護学校(米子市蚊屋343)

贈呈式日時: 令和4年10月11日(火)10時～

出席者: 本間隆之 学校長、他職員

LPガス協会西部支部長 板倉良一、(株)松本油店 大櫃、LPガス協会 加賀

2. 寄贈先: 米子市立こたか保育園(米子市尾高566)

贈呈式日時: 令和4年10月12日(水)15時～

出席者者: 石まゆみ 園長、年長組14名、他職員

LPガス協会西部支部長 板倉良一、大陽日酸エネルギー(株) 住本、LPガス協会 加賀

令和4年度 西部支部事業について



鳥取県立米子養護学校への寄贈



米子市立こたか保育園への寄贈

防災訓練事業の取組み

▶ 液化石油ガス漏れ時緊急出動防災出動要員更新並びに事業所会議の開催

- 日 時:令和5年1月17日(火)13:30～14:30
- 場 所:米子食品会館 旧館2F 多目的ホール
- 参加者:24名
- 防災出動要員更新:液化石油ガス漏れ時緊急出動体制

防災事業所9事業所 38名

出動事業所21事業所 63名

合計30事業所 101名

▶ 西部管内のLPガス消費先において、LPガスによる災害が発生し、又は恐れがある場合に、被害の未然防止上、消防署、警察、県市町村等から出動要請があった際の連携体制と実施要綱の申し合わせをして出動体制を整えております。

防災訓練事業の取組み

■ 地震等災害時情報伝達訓練の実施

- 日 時： 令和5年2月16日(木)14時00分 現地対策本部設置
- 目 的： この訓練は、自然災害(地震、洪水、大雪など)による被害の発生、又はその恐れがある場合に、災害時における適切かつ迅速な行動をとり、会員相互の緊急連絡体制を確立し、会員一丸となってLPガスの保安確保と安定供給に努め、公共の信頼に応えることを目的に毎年実施しております。
- 訓練内容：西部管内での災害発生を想定し、緊急連絡系統図に基づき以下の内容を電話連絡で伝達訓練を行いました。

伝達文：【本日、午後2時、西部地区で震度6弱の地震が発生しました。
LPガス関係被害状況報告書をLPガス協会へFAXしてください。】